

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 10 月 4 日 (2007.10.4)

【公開番号】特開 2006-304944 (P2006-304944A)
 【公開日】平成 18 年 11 月 9 日 (2006.11.9)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-044
 【出願番号】特願 2005-129431 (P2005-129431)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/22 (2006.01)

A 6 1 B 5/05 (2006.01)

A 6 1 B 5/107 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/22 B

A 6 1 B 5/05 B

A 6 1 B 5/10 3 0 0 G

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被測定者の年齢データを取得する年齢データ取得手段と、被測定者の除脂肪量データを取得する除脂肪量データ取得手段と、少なくともこれら除脂肪量データと年齢データとに基づいて被測定者の基礎代謝量データを算出する基礎代謝量データ算出手段とを備えてなる基礎代謝量測定システムであって、

被測定者が授乳期にある場合に授乳前後の体重変化量データを取得する体重変化量データ取得手段と、取得された体重変化量データに基づいて 1 日あたりの母乳の分泌量データを算出する泌乳量データ算出手段と、算出された泌乳量データに基づいて母乳を産出するために代謝されるエネルギー量データを算出する泌乳代謝量データ算出手段とを更に備え、前記基礎代謝量データ算出手段が、被測定者が授乳期にある場合、少なくとも除脂肪量データと年齢データとに基づいて算出された被測定者の基礎代謝量データに、前記泌乳代謝量データ算出手段で算出された母乳を産出するために代謝されるエネルギー量データを加算して得られるデータを、被測定者の基礎代謝量データとすることを特徴とする基礎代謝量測定システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の基礎代謝量測定システムであって、
 被測定者が授乳期にある場合に 1 日の授乳回数データを取得する授乳回数データ取得手段を更に備え、
 前記泌乳量データ算出手段が、前記体重変化量データ取得手段で取得された体重変化量データと、前記授乳回数データ取得手段で取得された授乳回数データとに基づいて、1 日あたりの母乳の分泌量データを算出することを特徴とする基礎代謝量測定システム。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の基礎代謝量測定システムであって、
前記授乳回数データ取得手段が、授乳回数を入力するための操作部を含み、この操作部から被測定者の実際の授乳回数が入力されることによって 1 日の授乳回数データを取得する

ものであることを特徴とする基礎代謝量測定システム。

【請求項 4】

請求項 2 に記載の基礎代謝量測定システムであって、
前記授乳回数データ取得手段が、一般的な 1 日の授乳回数データを予め記憶させたメモリを含み、この授乳回数データを読み出すことによって 1 日の授乳回数データを取得するものであることを特徴とする基礎代謝量測定システム。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の基礎代謝量測定システムであって、
前記メモリには授乳回数データが産後日数と関連付けて記憶されていると共に、
前記授乳回数データ取得手段が、被測定者の産後日数データを取得する産後日数データ取得手段を含み、この産後日数データ取得手段で取得された産後日数に対応する授乳回数データを前記メモリから読み出すことによって 1 日の授乳回数データを取得するものであることを特徴とする基礎代謝量測定システム。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 に記載の基礎代謝量測定システムであって、
前記体重変化量データ取得手段が、被測定者の体重データを取得する体重データ取得手段と、被測定者が授乳前である場合に前記体重データ取得手段で取得された体重データを保存する授乳前体重データ保存手段と、被測定者が授乳後である場合に前記体重データ取得手段で取得された体重データと前記授乳前体重データ保存手段に保存されている体重データとに基づいて授乳前後の体重変化量データを算出する体重変化量データ算出手段とを含んでなることを特徴とする基礎代謝量測定システム。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 に記載の基礎代謝量測定システムであって、
前記除脂肪量データ取得手段が、被測定者の身長データを取得する身長データ取得手段と、被測定者の体重データを取得する体重データ取得手段と、被測定者の生体電気インピーダンスデータを取得するインピーダンスデータ取得手段と、少なくともこれら身長データと体重データとインピーダンスデータとに基づいて被測定者の除脂肪量データを算出する除脂肪量データ算出手段とを含んでなることを特徴とする基礎代謝量測定システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

また、斯かる基礎代謝量測定システムにおいて、被測定者が授乳期にある場合に 1 日の授乳回数データを取得する授乳回数データ取得手段を更に備え、前記泌乳量データ算出手段が、前記体重変化量データ取得手段で取得された体重変化量データと、前記授乳回数データ取得手段で取得された授乳回数データとに基づいて、1 日あたりの母乳の分泌量データを算出することとする。ここで、この授乳回数データ取得手段は、授乳回数を入力するための操作部を含み、この操作部から被測定者の実際の授乳回数が入力されることによって 1 日の授乳回数データを取得するものとするか、又は一般的な 1 日の授乳回数データを予め記憶させたメモリを含み、この授乳回数データを読み出すことによって 1 日の授乳回数データを取得するものとすることができる。更に、後者の場合、メモリには授乳回数データを産後日数と関連付けて記憶させておくと共に、授乳回数データ取得手段が、被測定者の産後日数データを取得する産後日数データ取得手段を含み、この産後日数データ取得手段で取得された産後日数に対応する授乳回数データを前記メモリから読み出すことによって 1 日の授乳回数データを取得するものとすることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

ここで、泌乳量データを、授乳前後の体重変化量データと1日の授乳回数データとに基づいて算出する構成であれば、授乳の度に体重変化量データを取得する必要がなくなって、より簡便な基礎代謝量測定システムとすることができる。ここで、この授乳回数データ取得手段を、授乳回数を入力するための操作部を含み、この操作部から被測定者の実際の授乳回数が入力されることによって1日の授乳回数データを取得するものとした場合は、被測定者の個人差を一層加味して測定することが可能となる。あるいは、この授乳回数データ取得手段を、一般的な1日の授乳回数データを予め記憶させたメモリを含み、この授乳回数データを読み出すことによって1日の授乳回数データを取得するものとした場合は、例えば同一の被測定者において日毎の授乳回数に大きなバラツキがあって特定の日ににおける授乳回数とその被測定者の平均的な授乳回数を代表していると言い切れない場合にも対応することが可能となる。更に、後者の場合において、授乳回数データを産後日数と関連付けてメモリに記憶させておき、被測定者の産後日数に対応する授乳回数データを読み出す構成とすれば、乳児の成長（即ち、産後の経過期間）に応じた授乳回数の変化にも対応することが可能となる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

また、斯かる基礎代謝量測定システムにおいては、被測定者が授乳期にある場合に1日の授乳回数データを取得する授乳回数データ取得手段を更に備え、前記泌乳量データ算出手段が、前記体重変化量データ取得手段で取得された体重変化量データと、前記授乳回数データ取得手段で取得された授乳回数データとに基づいて、1日あたりの母乳の分泌量データを算出することが望ましい。ここで、この授乳回数データ取得手段は、授乳回数を入力するための操作部を含み、この操作部から被測定者の実際の授乳回数が入力されることによって1日の授乳回数データを取得するものとするか、又は一般的な1日の授乳回数データを予め記憶させたメモリを含み、この授乳回数データを読み出すことによって1日の授乳回数データを取得するものとすることが望ましい。更に、後者の場合、メモリには授乳回数データを産後日数と関連付けて記憶させておくと共に、授乳回数データ取得手段が、被測定者の産後日数データを取得する産後日数データ取得手段を含み、この産後日数データ取得手段で取得された産後日数に対応する授乳回数データを前記メモリから読み出すことによって1日の授乳回数データを取得するものとすることが望ましい。